

設立趣旨・目的

太平洋の島嶼諸国において、戦後の急速な近代化はライフスタイルの変化を引き起こし、数百年・数千年にわたって受け継がれてきた民族の叡智である伝統文化を衰退へと追いやりました。また伝統的な知識も適切に記録されることなく失われつつあり、現地住民がアクセスできる彼らの島の文化や歴史に関する情報も非常に限られています。私達は、彼らが自分達の文化や歴史について学ぶことが、心のよりどころとなる自民族に対する誇りやアイデンティティの醸成・強化、さらには自分達の伝統に基づいた現在そして未来の文化の創造へつなぐと考えます。

こうした社会の実現に向けて、パシフィカ・ルネサンスは、オセアニアの現地住民による伝統文化の復興・再生（ルネサンス）に貢献するために、文化や歴史の記録、調査、教育での活用に取り組むことを目的とします。また海外で保管されているさまざまな資料や研究成果などの情報の共有を図ります。さらにめぼしい産業のないオセアニア島嶼国において、観光業は大きな可能性を持っており、重要な観光資源となりうる有形・無形文化遺産の保存に向けて啓発活動を行うとともに、これらのカルチュラル・ツーリズム（文化観光）での活用を目指します。

こうした現地での活動に加えて、日本とオセアニア島嶼国の文化交流や友好関係の促進を図るとともに、日本側でパシフィカ・ルネサンスの活動に携わったり、そのサービスを受けたりする人々の内面に小さなルネサンスのような変化を起こすお手伝いができればと考えます。



事業内容

- ① オセアニアの伝統文化・歴史・文化遺産に関する記録・調査・教育事業
 - 離島の昔話の記録・教育での活用



- フェイスブック・ページを利用した伝統文化・歴史に関する情報の発信



- 離島の伝統文化・歴史に関するウェブサイトの製作
- 歴史・学術資料の現地コミュニティへの共有化
- 学校教育における社会科の教材の作成

- ② オセアニアの関連機関・団体への技術協力事業
 - ナンマドール（ポーンペイ島）・石貨遺跡（ヤップ島）の世界遺産登録へ向けての技術協力



- ③ オセアニアの観光及び日本との交流・友好を促進する事業
 - カルチュラル・ツーリズムの促進



- 伝統工芸の商品化



- ④ その他目的を達成するために必要な事業

